

# 日本子ども虐待医学会 AHT 研究部 第 1 回シンポジウム

平成 28 年 7 月 24 日(日) 15 時 15 分～17 時 45 分

(第 8 回日本子ども虐待医学会学術集会后)

虐待による死亡/重篤事例の多くを乳幼児が占めており、このうち特に AHT (虐待による乳幼児頭部外傷) は中核をなしている一群ですが、いまだに正確な診断がなされ、的確な保護がなされ、適切な司法手続きがなされているとは言い難い状況にあります。

我が国に先んじて虐待対応の多機関連携体制を構築してきた米国では「的確な連携がなされることにより、証拠収集能力は 3 倍に増え、起訴は 2 倍に増えた」と報告されています。的確な情報共有/証拠収集が行われる協働体制の構築は、起訴件数の増加だけではなく、的確な医学診断や的確な子ども保護の判断にもつながることは論を待ちません。

このような問題点の解決を目指し、日本子ども虐待医学会の研究部として AHT 研究部が昨年度発足いたしました。その部会では、得られた知見を共有すべく定期的に勉強会やシンポジウムを持つこととしており、今回のシンポジウムはその第 1 回目になります。

なお、本シンポジウムには、第 8 回 JaMSCAN 学術集会に参加されない方でも、JaMSCAN 正会員・検察官・警察官ならご参加いただけます。参加費は無料です。

## プログラム

### 第一部 (座長：長嶋 達也、美作 宗太郎)

15 時 15 分～15 時 20 分：医療機関における、虐待死の可能性のある死亡事例の実態  
～アンケート調査より～

群馬県前橋赤十字病院小児科 溝口 史剛

15 時 20 分～15 時 35 分：児童虐待事案における刑事手続の流れ

福岡地検小倉支部 検事 石垣 光雄

### 第二部 (座長：小熊 栄二、山田 不二子)

15 時 35 分～16 時 35 分：模擬事例 1 症例提示：山崎 麻美

指定発言者：相田 典子

検察官検事：白井 美果

16 時 35 分～17 時 35 分：模擬事例 2 症例提示：山崎 麻美

指定発言者：相田 典子

検察官検事：白井 美果

17 時 35 分～17 時 45 分：コメント 最高検察庁 刑事政策推進室 佐々木 洋二郎

\*なお、当シンポジウムは、日本子ども虐待医学会(JaMSCAN)正会員限定、完全事前登録制となります。すでに第 8 回学術集会に参加登録をお済ませの方はメールにて、また、これから参加登録なさる方は第 8 回 JaMSCAN 学術集会 参加登録サイトから当シンポジウムの参加をお申込みください。

\*警察・検察関係者の方は、別途、学会事務局([info@jamskan.jp](mailto:info@jamskan.jp))まで、当シンポジウム参加のご希望についてご連絡ください。